

# 学力 向上部

**仮説：生徒の興味・関心を高めて、進んで学習する  
また、生徒が学習方法を理解して取り組むこ  
学力が向上するであろう。**

**手立てを講ずれば、学力が向上するであろう。  
とによって自信がつけば、学習への意欲がさらに増し、**

## 1 学び合い学習

(1)ねらい

「聴き合う」「話し合う」活動を通して、学びを  
深め、学習効果を上げる。



(2)内容

男女混合の3~4人で学習班をつくり、課題解決に向けた話し合い  
をする。わからない生徒は「ここ、どうするの?」と問いかけ、問いか  
けられた生徒は、誠実に応答する。グループで相談しても解決でき  
なかつたら先生を呼ぶ。

(3)授業例

- ・国語 1年:動物の睡眠と暮らし(ミッションをクリアしていく)  
2年:扇の的(群読)  
3年:ウミガメと少年
- ・数学 1年:文字式の導入(マッチ棒の本数を求める)  
2年:一次関数の導入(線香を燃やす実験)  
3年:平方根(無理数トランプ)、二次方程式の問題作り

## 2 学習の進め方

(1)内容

各教科で、4月の授業開きのときに生徒  
に配付するガイダンス資料を作成した。



(2)共通項目

- ・なぜその教科を学ぶのか
- ・教科の目標や努力点
- ・ノートや問題集の使い方(5教科)
- ・3年間で学ぶ内容(5教科)
- ・評価方法 等

## 3 放課後学習

(1)実施時期

校内定期テストの前の放課後に実施する。

(2)内容

全教科の担当教師が、わからないところの  
ある生徒に個別に指導をする。生徒は事前  
に質問事項をまとめておく。



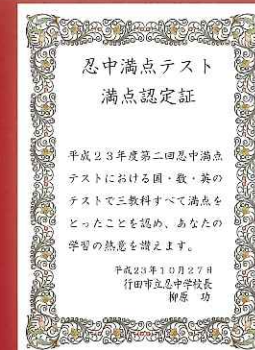
## 4 忍中満点テスト

(1)実施時期

年5回、朝自習の時間に実施する。

(2)内容

国・数・英の3教科で、既習の基礎的な内容  
の中から予告問題を提示する。その中から出題し、  
全教科満点者を表彰。基礎・基本の定着と学習意欲  
の向上をねらいとする。



## 5 読書の推進

(1)実施の時間および時期

- ・10分間の朝読書(毎日)
- ・読書月間(10月)

(2)内容

朝読書の実施と、掲示物の作成をした。読書  
月間には読書マラソンや、家族読書ウィークなど  
の取組を通して、読書の習慣化を図っている。





# 生活 習慣部

**仮説：基本的な生活習慣が身につき、関心が高まり、学力・体力が**

**学習規律が定着すれば、学習への向上するであろう。**

## 1 生活習慣の改善

- (1)「規律ある学校を目指してアンケート」  
学習・生活に関わるアンケートを毎学期実施している。
- (2)講演会の実施  
生徒指導講演会、ふれあい講演会、薬物乱用防止教室
- (3)生活のきまり等の見直し  
共通理解・共通実践項目の見直しと周知徹底

## 2 授業規律の徹底

- (1)「授業の約束」の作成と取組の徹底  
言葉をできるだけ短くした。それは、「授業の約束」を生徒たちが授業の最初に唱和することにより、意識の向上と授業規律の徹底を図るためである。現在、各授業の始めの部分で、生徒自身による「授業の約束」の確認がされている。
- (2)「時を守る」取組
- (3)言語環境の整備に関わる取組

### 授業の約束

- 1 授業の準備は休み時間に
- 2 チャイム着席を守る
- 3 あいさつをしっかりと
- 4 指名されたら「はい」
- 5 発言・発表は「～です」「～ます」
- 6 忘れ物0
- 7 1時間を大切に！真剣に！！

## 3 生徒会の取組

- (1)生徒会専門委員会による生活点検  
学習・生活の両面においても、規律の徹底を図っていかなければならない現状が見えてきた。その取組として、教師側の取組と、生徒会を中心とした生徒たちの取組を同時に進めながら、「学習規律・生活規律」の改善を図ることとした。
- 主な活動例(生活委員会)
  - ・生活目標の設定・・・月ごとに設定し、各学級に掲示している。
  - ・生活点検・・・点検項目[チャイム着席・忘れ物・授業中の私語・あいさつ・頭髪・服装等]
  - ・公共物を大切に取る取組・・・各学級の担当する清掃場所を「公共物点検表」にそって点検する。

## 4 あいさつ日本一

- (1)生徒による取組
  - ・学級ごとの登校時あいさつ運動(1学期実施)
  - ・生活委員による登校時あいさつ運動(学期始めに実施)
  - ・あいさつ推進ポスターの掲示(生活委員会担当)
- (2)職員による取組
  - ・毎朝の登校時あいさつ運動(各学年より1名の当番制)
  - ・集中あいさつ運動(学期始めに全職員)
  - ・「幟(のぼり)」の製作と設置



## 5 部活動・体力の向上

- (1)部活動開始・終了時間設定  
部活動開始時間、終了時間に放送を流す。全生徒が時間を意識して一斉に部活動に取り組めるようにした。
- (2)部活動強化週間の設定  
毎学期部活動強化週間を設け、全生徒が意欲的に取り組めるようにした。部活動の出欠席は、年間を通して各部活ごとにとっているが、強化週間中はクラスでも出欠席を確認するようにした。
- (3)パワーアップ(広報紙)  
生活習慣や健康・体力に関する内容をわかりやすくまとめた。年間15号を目標に発行している。

## 6 全校合唱

昨年度より、音楽集会において全校合唱を取り入れた。生徒会本部役員とリーダーが中心となり、練習を行っている。その成果は、校内音楽会で発表している。





# 家庭・地域連携部

**仮説：家庭の教育力を高め、地域と  
たちの学習環境が改善され、**

**の連携を深めることにより、子ども  
学力が向上するであろう。**

## 1 保護者の意識の向上

### (1) アンケート調査の実施

家庭での過ごし方について、保護者の意識を高めることを目的として「家庭生活アンケート」を実施した。



### (2) PTA広報紙の活用

PTA活動を活性化し、連携を深めるために、広報紙にアンケート調査の結果をもとにした「家庭でできる支援」についての特集を組んでもらった。

## 2 家庭学習の充実

### (1) 「家庭学習のすすめ」の作成・配付

家庭学習で何を行っていいかわからないという生徒が多い。そこで、5教科の家庭学習のポイントを整理して配付した。

### (2) 家庭学習ノートの定着

毎日の家庭学習を定着させることと、どのように取り組んでいるかを担任が把握することを目的に実施している。

### (3) 「新入生への春休みの課題と確認テスト」

小学校卒業から中学校入学までの期間は、これまで何も学習をしない空白期間であった。その期間に課題を出すことで、家庭学習の習慣をつけることと、中学校の学習にスムーズに入れるように考えて実施した。また、その確認テストを行った。

#### 家庭学習のすすめ <国語>

- 1 国語の力を高めるためには
    1. 各教科から読者に親しみ、読書習慣を身につけ、読書記録や感想文を書いてみる。
    2. わからない単語や漢字はすぐに辞書で調べ、理解する。
    3. 国語や文法の学習を自主的に実践し、理解を深める。
    4. 授業の予習、復習にしっかりとワークを活用する。
    5. 授業で学習したことを他の教科や実生活で生かす。(新聞紙に「書く」「読む」「話す」「聞く」)
    6. 言葉づかいに注意し、正しい日本語・美しい日本語を使う。
  - 2 学習の進め方
    1. 教科書を何冊も読む。必ず声に出して読む。
    2. 「学習のめあて」に目を凝らし、学習の目標やどんな活動をするのかを把握する。
    3. 漢字練習・意味調べを徹底にしたがってやっておく。ワークも活用する。(「国語漢字」練習だけでなく、読めない漢字、書けない漢字、わからない語句を必ず辞書で調べたり、練習したりしておく)
    4. 予習を進めていない日については、ノートに書き出し、授業を履いて解決を図る。必ず自分なりの学習課題をもつ。
  - 3 復習の進め方
    1. 教科書がわからなくなるとなるまで何度も声に出して読み、内容、漢字、構文の整理をする。
    2. 漢字や語句、文の決まりなどをしっかり覚える。(漢字などを、漢字の語彙が整理して覚えていないのは許容してしまえば意味がない)
    3. 「学習のとき」にわからなかった点や、わかるようになった点必ず確認する。
    4. 必ずワークをやって、自分の理解度を確認したり、進捗を確認したりする。
    5. きちんとノートを整理し、大事な事項について理解したり確認したりする。
- (例) ①作業名 ②読書名 ③読書 ④読書の工夫  
⑤自分がわからなかった点 ⑥気がついた点・学んだ点  
⑦学習や復習の時間など  
⑧同じようなジャンルの他の本を読む。

## 3 家庭教育支援体制の充実

### (1) 「新入生保護者説明会」

中学校入学にあたっての、親としての心構えなどを、講師の方に話していただいた。

【昨年度の例】 花咲徳栄高校野球部監督 岩井隆先生「心の野球」



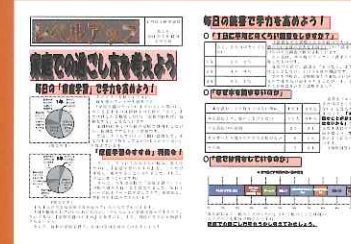
### (2) 「三者面談」

埼玉県の学力向上についてのプリントを配付し、話題として取り上げ、家庭の学習環境や学習時間の改善につなげた。

## 4 学力向上研究通信の発行

### (1) 学校としての取組の紹介

「家庭学習の取組」「満点テストの実施」など、今、学校として取り組んでいることは何かを紹介している。



### (2) 学力向上につながる情報の提供

「読書習慣と学力」「朝食と学力」「生活習慣との関連」など、生徒と保護者に情報を紹介している。

## 5 地域との連携

### (1) 忍地区青少年健全育成会との連携

子どもたちの健全育成にと、毎年講演会やコンサート等を開催している。



### (2) 外部指導者との連携

進路学習や教科の学習で依頼することが可能な外部指導者の方をリストアップしている。